



香代

遇刻支端

不願

不願

不願

不願

不願

不願

不願

不願

不願

不願



少くも二三名也
松院ノ有力家
引大と名に下
肝煎也しメ
同者多し
材カシ又カ
レ中ノ矢ノ
石ノ下
入る中ノ
子ノ由平
味ノ油
今中ノ
為母家
為母家

此後之...
為...
...
...
...
...
...

四月十日

早巳...

大田...

下...

一既...

解...

一 既ニ起ツト下流セシト共
鮮教上流者ノ政治
ヲ實ルルノ覺悟
少也

一 昨去今ノ新ニ
同志中正國民ノ正
派ヲ率テテ國ヲ
必ヨリ

一 此以多量ノ財ヲ捐
入タルヲ極トシテ正
シ合回セシムルノ事ヲ
爲シテ今日ノ合同トシ
ニ進捗セシム

一 法ヲ以テテ上ニ
儀ノ爲メ國民忠告ノ事

之ノ一ノ一合同トシ
為シルザンモ今日
的ニ進捗セシムニ

一法了ラフ決死上ニ持
儀ノ除国民忠告ノ一
ノ言ノ方々様ヲ逸
也下レテ之ヲ排
也

自保先方ノ出由
リシ臨様ノ交
為國也

買古島

那保(平)

柏島(平)

石田(平)

地

柏泉 (平筆)

石田 (平筆)

有書也

有書也 (平筆)

山名 (平筆)

山名 (平筆)

西相 (平筆)

金尾

相相 (平筆)

方向

相鼻 (平筆)

大善

十五人